

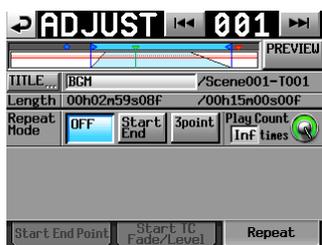
ファームウェアV2.11の新機能

ファームウェアV2.11より、次の新機能を追加しました。

- プレイリストモード：エントリー毎のリPEAT再生設定を追加
- プレイリストモード：エントリー 1、2のタイマー再生機能を追加
- オンライン機能：Linked to Fader機能の追加
- USBメモリー対応
- BROWSE画面の追加
- RS-232Cによるリモートコントロール対応の追加
- 外付けキーボードのSHIFTキーとBACKSPACEキーによる全クリア機能の追加
- ポップアップメッセージの追加

プレイリストモード：エントリー毎のリPEAT再生設定を追加

プレイリストエントリー毎のリPEAT再生設定を“ADJUST”画面の“Repeat”タブ画面を追加しました。



Repeat Mode

リPEAT再生の設定ボタンです。

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 40px; margin: 0 auto;">OFF</div> <p>(初期値)</p>	<p>リPEAT再生しません。 画面上部（カーソルヘッドがある領域）の再生範囲が水色で表示されます。</p> <p style="text-align: center;">再生範囲：水色</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 40px; margin: 0 auto;">Start End</div>	<p>再生開始位置と再生終了位置の間を設定回数リPEAT再生します。 画面上部（カーソルヘッドがある領域）のリPEAT再生範囲が橙色で表示されます。</p> <p style="text-align: center;">リPEAT再生範囲：橙色</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 40px; margin: 0 auto;">3point</div>	<p>リPEAT再生の開始位置と終了位置の間を設定回数リPEAT再生します。 画面上部（カーソルヘッドがある領域）のうち、通常再生範囲が水色で、リPEAT再生範囲が橙色で表示されます。</p> <p style="text-align: center;">再生範囲：水色</p> <p style="text-align: center;">リPEAT再生範囲：橙色</p>

Play Count

リPEAT再生する回数の設定つまみです。

つまみを押し、パラメーター表示部の背景を黄色く反転させ、DATAダイヤルを使って設定します。

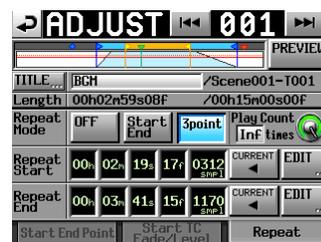
設定範囲：1～99、Inf（初期値：1）

Repeat Start / Repeat End

リPEAT再生の開始位置／終了位置を設定します。

Repeat Modeが“3point”に設定されているときだけ表示され、設定できます。

設定方法は、“Start End Point”タブ画面の再生開始位置（“Start”）／終了位置（“End”）と同じです。



メモ

- Repeat Modeが“Start End”または“3point”に設定されている場合、ホーム画面 タイムバー左側に“99/99”のように「リPEATアイコン リPEAT再生した回数／リPEAT再生回数設定」を表示します。

“Play Count”が“Inf”に設定されている場合は、“--/∞”と表示されます。



- リピート再生範囲を再生中にプレイキーを押すと、設定回数再生していない状態でもリピート再生をやめ、リピート終了位置を通り越してエントリー末尾まで再生します。
この際、ホーム画面のタイムバー左側に表示される「リピート再生した回数」の表示値は、「**“Play Count”** 設定値」になります。
【例】

“Play Count” が10回 / Inf 回に設定されたエントリーをリピート再生中にプレイキーを押すと、ホーム画面のタイムバー左側に “10/10” / “∞/∞” と表示され、リピート終了位置を通り越してエントリー末尾まで再生します。

- Repeat Modeが “3point” に設定されている際、リピート再生できない状態では、下記ようになります。

リピート再生できない状態

リピート再生開始位置がリピート再生終了位置よりも後ろ
リピート再生開始位置 / 終了位置の両方またはいずれかが、再生範囲外

“ADJUST” 画面上部（カーソルヘッドがある領域）のリピート再生範囲の橙色は表示されません。



ホーム画面 タイムバー左側のリピート再生状態 / 設定表示部は、“∞/∞” のように灰色で表示されます。

- PREVIEW OFF時は、“ADJUST” 画面でのリピート再生を行いません。PREVIEW ON時は、Fade IN/OUT設定、レベル設定およびリピート設定どおりの音を再生します。

プレイリストモード：エントリー 1、2のタイマー再生機能を追加

タイムコードジェネレーターが指定時刻になると再生を開始するタイマー再生機能の設定を、プレイリストエントリー 1、2の “ADJUST” 画面の “Play Timer” タブ画面に追加しました。



Play Timer

タイマー再生機能の有効 / 無効を設定します。

- Disable (初期値) : タイマー再生を実施しません。
- Enable : タイマー再生を実施します。

Time

タイマー再生を実施するタイムコード時刻 (時分秒) を設定します。タッチすると背景が黄色くなり、DATAダイヤルで操作できます。(初期値 : 00:00:00)

Mode

タイマー再生の動作モードを設定します。

- START TIME (初期値) : 指定時刻に再生を開始します。
- END TIME : 指定時刻に再生を終了するように、再生を開始します。

メモ

- エントリー 1、2以外の “ADJUST” 画面では、“Play Timer” タブ画面は表示されません。
- “Play Timer” 項目を “Enable” に設定してホーム画面に戻ると、本機に接続されたTASCAM RC-HS32PDの該当するフラッシュメモリー 1行目に、タイマー再生開始時刻が表示されます。
- “Play Timer” タブ画面の “Mode” 項目を “END TIME” に設定した場合、タイマー再生開始時刻は再生時間の長さ分だけ設定時刻より前となります。
- “Repeat” タブ画面でリピート再生設定を有効にし、“Play Timer” タブ画面の “Mode” 項目を “END TIME” に設定した場合は、タイマー再生開始時刻はリピート再生時間を含んだ再生時間の長さ分だけ設定時刻より前となります。
ただし、“Repeat” タブ画面の “Play Count” 項目が “inf” に設定されている場合は再生時間の長さが不明なため、タイマー再生開始時刻はリピート再生しない場合と同じ時刻 (Start-Endの時間の長さ分だけ設定時刻より前) となります。

注意

“ADJUST” 画面表示中は、タイマー再生開始時刻になっても再生を開始しません。

オンライン機能 : Linked to Fader機能の追加

外部リモコン（別売のTASCAM RC-HS32PDなど）のフェーダー操作によってオンライン再生モードの切り換えを行うオンライン機能設定「Linked to Fader」を、“SYSTEM SETUP”画面の“PREFERENCES”タブ画面に追加しました。



ONLINE Function : Linked to Fader

外部リモコン（別売のTASCAM RC-HS32PDなど）のフェーダーを∞から上げると、オンライン再生モードがオンに切り換わります。外部リモコン（別売のTASCAM RC-HS32PDなど）のフェーダーを∞に下げると、オンライン再生モードがオフに切り換わります。

メモ

- 外部リモコン(別売のTASCAM RC-HS32PDなど)が接続されている場合、オンライン機能の設定を「Linked to Fader」に設定していると、フロントパネルのONLINEキー、外部リモコン(別売のTASCAM RC-HS32PDなど)のONLINEキー、パラレル端子、およびシリアル端子 (RS-232C) によりオンライン再生モードの切り換え操作を行っても、下記メッセージが表示されてオンライン再生モードは切り換わりません。

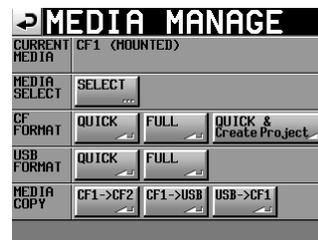


- 外部リモコン(別売のTASCAM RC-HS32PDなど)が未接続の場合、オンライン機能の設定を「Linked to Fader」に設定していても、フロントパネルのONLINEキー、パラレル端子、およびシリアル端子 (RS-232C) でオンライン再生モードの切り換えを行うことができます。

USBメモリー対応

USBメモリーからのデータの取り込みや、USBメモリーへのデータのコピーに対応しました。

これに伴い、“CF MANAGE”画面を“MEDIA MANAGE”画面に名称を変更し、USB FORMAT機能とUSBメモリー／カレントメディア間のコピー機能を追加しました。



注意

“FORMAT”項目内のコマンドおよびコピーを行った場合、対象のメディアのデータは全て消去されます。十分確認した上で行ってください。

CURRENT MEDIA

現在選択されているメディア名とその状態を表示します。

MEDIA SELECT

“MEDIA SELECT”画面を表示します。
録音／再生するメディアを選択します。

CF FORMAT

選択されているメディアをフォーマットします。

QUICKボタン	メディアの管理領域のみを初期化します。
FULLボタン	メディアの全領域を初期化します。
QUICK & Create Projectボタン	メディアの管理領域のみの初期化を行った後に、現在の設定のプロジェクトの作成を自動で行います。

USB FORMAT

USBメモリーをフォーマットします。

QUICKボタン	USBメモリーの管理領域のみを初期化します。
FULLボタン	USBメモリーの全領域を初期化します。

MEDIA COPY

メディアの内容をコピーします。

CF1 → CF2 CF2 → CF1	選択されているメディアから選択されていないメディアにメディア全体をコピーします。
CF1 → USB CF2 → USB	選択されているメディアからUSBメモリーにメディア全体をコピーします。
USB → CF1 USB → CF2	USBメモリーから選択されているメディアにメディア全体をコピーします。

BROWSE画面の追加

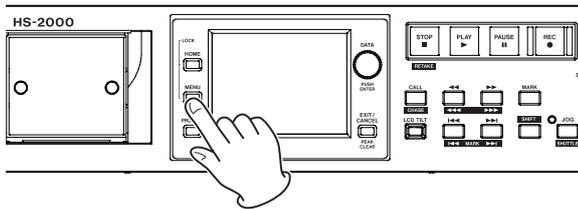
CFカード、USBメモリーのフォルダー／ファイルの表示／操作を行う“**BROWSE**”画面を追加しました。

CFカードおよびUSBメモリーのフォルダー／ファイルの表示／操作を以下の手順で説明します。

- フォルダー／ファイルを表示する
- フォルダー／ファイルの情報を表示する
- フォルダー／ファイルを削除する
- フォルダー／ファイルをコピーする

フォルダー／ファイルを表示する

1. フロントパネルの**MENU**キーを押すと、以下の“**MENU**”画面を表示します。



2. “**BROWSE**” ボタンを押して、“**BROWSE**”画面を表示します。初回は、メディア選択画面が表示されます。2回目以降は、最後に表示したメディア／フォルダーの内容が表示されます。



[CF1の場合]

メモ

- “**TOP**” ボタンを押すと、メディア選択画面に戻ります。
- “**Current**” ボタンを押すと、カレントメディアのカレントセッションフォルダー内に移動します。
- カレントメディアのカレントプロジェクトフォルダーおよびカレントセッションフォルダーは、“**C**”アイコンに“**C**”が表示され、黄色のハイライト表示になります。

3. 内容を確認したいメディア／フォルダーの“**→**” ボタンを押すと、そのメディア／フォルダー内に移動します。



[フォルダー：“Project01”の場合]

4. 更に下層のフォルダーに移動する場合は、表示されているフォルダー名の“**→**” ボタンを押します。



5. 上層に移動する場合は、画面左上の表示中のメディア名／フォルダー名が描かれたボタンを押します。



フォルダー／ファイルの情報を表示する

1. 情報を表示したいフォルダー／ファイルが含まれるメディア／フォルダーに移動します。



[CF1の場合]

2. フォルダー／ファイルを選択します。



[フォルダー：“Project01”の場合]

選択されたフォルダー／ファイル名の背景が黄色くなります。

3. “INFO” ボタンを押すと、選択されたフォルダー／ファイルの情報をポップアップ表示します。

- フォルダーを選択している場合は、フォルダーの作成日時が表示されます。



- BWF / WAVファイル以外を選択している場合は、ファイルの更新日時とファイルサイズが表示されます。



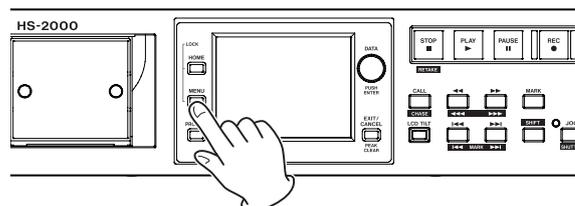
- BWF / WAVファイルを選択している場合は、下記情報が表示されます。



- ファイルの更新日時
- ファイルサイズ
- サンプリング周波数
- bit長／チャンネル数
- 時間長／START T/C

フォルダー／ファイルをコピーする

1. フロントパネルのMENUキーを押すと、以下の“MENU”画面を表示します。



2. “BROWSE” ボタンを押して、“BROWSE”画面を表示します。



[CF1の場合]

3. コピーしたいフォルダー／ファイルが含まれるメディア／フォルダーに移動します。



[フォルダー：“Project01”の場合]

コピーするのフォルダー／ファイル名を選択します。選択されたフォルダー／ファイル名の背景が黄色くなります。

4. “MENU” ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。

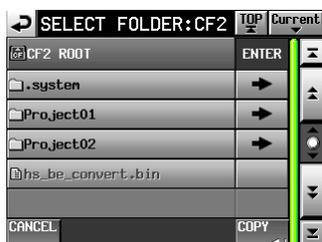


- プルアップメニュー項目“COPY”ボタンを押すと、コピー先フォルダーの選択画面に切り換わります。
- コピー先のフォルダーに移動します。
 - 初回コピーの際は、メディア選択画面になりますのでコピー先フォルダーが含まれるメディアの“→”ボタンを押して、コピー先フォルダーに移動します。



[初回のメディア選択画面]

- 2回目以降は、最後に表示したコピー先フォルダーの選択画面になります。



[前回CFカードを選択していた場合]

メモ

- コピー先選択中は“BROWSE”表示が“SELECT FOLDER”表示の点滅に切り換わります。
- コピー先選択中に“CANCEL”ボタンまたは“←”ボタンを押すと、コピー先フォルダーの選択画面から“BROWSE”画面に戻ります。



- “COPY”ボタンを押すと確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、問題なければ“OK”ボタンまたは“ENTER”キーを押すとコピーが実行されます。



コピーを中止する場合やコピー先を変更する場合は、“CANCEL”ボタンを押してください。

メモ

コピー先に同じフォルダー名/ファイル名が存在した際は、“Cannot Copy Folder”または“Cannot Copy File”のポップアップウィンドウが表示されます。コピーするフォルダー名/ファイル名を変更する場合は“RENAME”ボタンを押してください。名前の入力方法は、HS-4000の取扱説明書 第5章「プロジェクト」の「プロジェクト名を編集する」を参照してください。

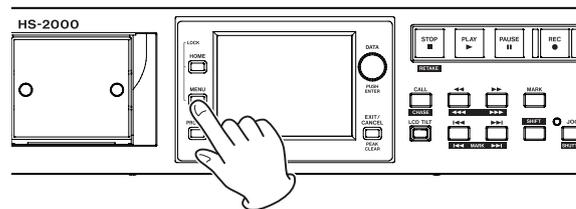


“CANCEL”ボタンを押すと、コピーを中止します。

- コピー中はポップアップウィンドウが表示されます。コピーが完了するとポップアップウィンドウが消え、“BROWSE”画面に戻ります。

フォルダー/ファイルを削除する

- フロントパネルのMENUキーを押すと、以下の“MENU”画面を表示します。



- “BROWSE”ボタンを押して、“BROWSE”画面を表示します。



[CF1の場合]

3. 削除したいフォルダー／ファイルが含まれるメディア／フォルダーに移動します。



[フォルダー：“Project01”の場合]

削除するフォルダー／ファイル名を選択します。
選択されたフォルダー／ファイル名の背景が黄色くなります。

4. “MENU” ボタンを押して、ブルアップメニュー項目を表示します。



5. ブルアップメニュー項目 “DELETE” ボタンを押します。
6. 確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、“OK” ボタンまたはDATAダイヤルを押します。



7. 再確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、“OK” ボタンまたはDATAダイヤルを押すと削除が実行されます。



削除を中止する場合は、“CANCEL” ボタンを押してください。

8. 削除中はポップアップウィンドウが表示されます。削除が完了するとポップアップウィンドウが消え、“BROWSE” 画面に戻ります。



注意

タイムラインモードやプレイリストモードで使用されているフォルダー／ファイルや本機の管理ファイルであっても削除できますので、ご注意ください。

タイムラインモードやプレイリストモードで使用されているテイクを削除した場合、該当リージョン／エントリを再生しようとした際にエラーポップアップが表示されます。

メモ

カレントセッションの音声ファイルを削除した場合、リビルドの実施確認メッセージが表示されますのでリビルドを実施してください。リビルドを実施しない場合、管理ファイルと音声ファイルとの間に不整合が生じるため “Play Error” とポップアップメッセージが表示される場合があります。

リビルドが必要な状態になると、下記ボタンに \uparrow マークが表示されます。

各種MENU内の “REBUILD” ボタンを押して、リビルドを実施してください。

- ホーム画面のファイル名表示ボタン
- “PROJECT” 画面の “MENU” ボタン
- 各種MENU内の “REBUILD” ボタン

RS-232Cによるリモートコントロール対応の追加

RS-232Cによるリモートコントロールに対応しました。

外付けキーボードのSHIFTキーとBACKSPACEキーによる全クリア機能の追加

文字入力画面表示中に外付けキーボードのSHIFTキーを押しながらBack Spaceキーを押すことで、入力文字を全てクリアする機能を追加しました。

ポップアップメッセージの追加

メッセージ	内容と対処方法	備考
Cannot Assign to Playlist. File property is not matched to current mode.	ファイルのプロパティが現在のモードと一致しないため、 プレイリストにアサインできません。	
Cannot Change Now Fixed in current Fs.	現在のFsでは設定が固定されており、変更できません。	
Cannot Change Now Online Linked to Fader	Online FunctionがLinked to Faderに設定されているため、 ONLINEキーではオンライン再生モードを切り替えできません。	
Cannot Change Now Play Fs setting is not OFF. Please change Play Fs to OFF.	Play Fs設定が-0.1%か+0.1%に設定されているため、切り換えでき ません。切り換えるには、Play FsをOFFに設定してください。	
--- Circle Take --- Did not Edit n take(s) that (is/are) read-only.	読み取り専用設定されているため、テイク名に@を付けたり、削除 したりできません。	n:テイク数